
cutter 2

新品の靴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

cutter 2

【著者】

ZZード

ZZ265Z

【作者名】

新品の靴

【あらすじ】

「ねえ、友達になろうよー。」

そう言わされてから一週間が経つ。

「ねえ、友達になろうよ！」

そう言われてから一週間が経つ。

もちろん彼女とはあれ以来一度も会っていない。

通り魔の正体がバレた以上迂闊には彼女に会えない。

・・・・警察を連れてきてくるかもしれないし。

あの日以来人を切るのも止めた。

案外止められるもんなんだなあ・・・

そう思いながら放課後の教室をそつと出る。

あたしを呼び止める人は誰もいない。

遊びに誘う人なんているわけがない。

友達になろうよ！

そう言われた時、確かにあたしはうれしかった。
自分を取り巻く環境があまりにも・・・凄惨で。
孤独の渴きが頂点に達しようとしていた。

そんなときにある子が現れた。

ああだめだ、あの子のことしか考えてない。
もし、

もし本当に友達になってくれたら?
裏切りじゃなく。

それだったら・・・
それだったら・・・

だめだ、あり得ない。彼女にはもう会わないほうがいい。

・・・・・だけ耐えきれず、会いに行く」と云した。

同じ曜日同じ時間同じ場所に。

いるわけがない。と思いつつ微かに期待してしまった自分。

・・・・・ああ。

どうして。

いるの。

「やあ！久しぶり。もう会えないのかと思つていたよ。」

「・・・・・どうして。」

「ん？」

「どうしてここにいるの・・・？」

「どうしてつてそりや、あなたを待つて・・・」

「だからどうしてあたしなんかをずっと待つてんのよー。」

「だつて言つたじやん。友達にならつて。あなたもはつて。」

「あんなの・・・・・」

「どうかいこつか」

「・・・・・は？」

「どうかとあーーーいところに行こ？一緒にーーー」

「え・・・いやいやだつて時間も・・・・・

「いいじやん別に。死ぬわけじやないしー。」

あのねえ・・・・・

「それに人を切るよりはるかにマジだと思つけどなー？」
「いたずらつぼくあたしを見つめる。
選択の余地なしか・・・。

あたしは深々と溜息をつく。
内心はどうぞきしてたけど。
友達と出かけたことなんて・・・

「わかつたわよ・・・でも急すぎ。」「
「だつて今思いついたもん。」

・・・・

「で、どこ行くの？」

「うーーん・・・それは電車に乗つてから決めよう。」

「ふつ・・・何それ

もう・・・意味分かんなくて。

楽しい。

やつと呼吸できた。

電車に揺られる一人が窓に映る。
なんだか不思議だ。

「・・・乗つたは乗つたでいいけど、ほんとどここくんだううね
ー私たち。」「だから言つたのに・・・」「

「・・・あ、そういうばどうじて人を切つてたの？」

ちよつと・・・声大きいよ・・・

「うーん・・・根本的にはどうしてかわからないの。人を傷つけて
自分も傷つける、っていうスパイクルにはまつただけかも。」「

「あーーだからその傷・・・」

「あなたは？」
「え？」
「あなたのその傷。」
「そ、れは…」
「…」

つづく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7265n/>

cutter 2

2010年10月11日03時17分発行